

令和3年第4回

久山町議会9月定例会

一般質問通告書

質問順		議員氏名
8月18日 (水)	1	久芳 正司
	2	佐伯 勝宣
	3	本田 光

令和3年第4回久山町議会9月定例会 一般質問通告書

令和3年8月18日(水) 9時30分～

質問順1番

久芳 正司

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 県道35号筑紫野古賀線の久山町役場入口交差点に隣接している町有地の管理について	交差点に隣接した公園整備計画の進捗状況はどのようなになっているか。	町長 都市整備課長
2. J-クレジットについて	J-クレジットの仕組み・収入金額・収益金の使途はどのようなになるのか。また、この制度への取り組みによって山の管理へのデメリット等はないのか。	町長

令和3年第4回久山町議会9月定例会 一般質問通告書

令和3年8月18日(水) 9時30分～

質問順2番

佐伯 勝宣

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 補助金目的外使用と「久山道の駅事業」(観光交流センター事業)について</p>	<p>① いまだ行われていない「久山道の駅事業」断念の住民説明会。観光交流センター事業予定跡地、山の神の5040㎡の町有地活用は、まず町民に「久山道の駅事業」断念と、半ば強行して土地取得に至った経緯を説明した後、議論されるものであると考えるが。</p> <p>② 平成26年指摘の「目的外使用」と「久山道の駅事業」、同時期にこの二つの問題、当時の西村勝町長が魅力づくり推進課職員として共通の担当者であったが、これは表裏一体の問題があるのでは。例えば、</p> <p>(1) 前述、観光交流センター事業予定跡5040㎡町購入地への久芳前町長宅の6筆8378㎡の土地の隣接がずっと議会で伏せられていた。</p> <p>(2) 「久山道の駅事業」遂行の賛否が議会で大激論のさなか、町は会計検査院より国交省の木造のモデル住宅事業で「補助金目的外使用」の指摘を受け、1984万円を国交省へ返還するに至った。しかし、この件、実際に会計検査院・国交省とやり取りしていた「道の駅担当」でもある魅力づくり推進課が報告することはなく、11月の全員協議会の場で町長自身がこの「違法」を報告するのでもなく、なぜか経営企画課が12月議会の議案説明会の中で、補正予算「国県支出金精算返納金1984万円」の説明として、「町と会計検査院との見解の相違」との前提で、突如議会に報告を始めた。</p> <p>(3) 目的外使用は「県と協議してモデル住宅を使用した」、県・国の許可を得て使用していた(事務手続き上の過ちである)、と事実と異なる主張を議会で10回以上述べた。</p> <p>上記3点の他、解明されていない点が多く、特に(2)は理由を当時の町長にただし、「道の駅」遂行との関係性を確認する必要がある。久芳前町長を議会に呼び、一般質問にも同席を求めたいが、やぶさかではないか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
<p>2. 交通安全対策について</p>	<p>千葉県<small>やちまた</small>八街市で起きたトラックによる児童5人の死傷事故を受け、政府首相も通学路の点検、緊急対策の実行の指示を表明した。町では対応に具体的な動きはあるか。</p>	<p>町長</p> <p>都市整備課長</p>

令和3年第4回久山町議会9月定例会 一般質問通告書

令和3年8月18日(水) 9時30分～

質問順3番

本田 光

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. ワクチン接種と新型コロナウイルス感染防止対策・公衆衛生(生活習慣病対策含む等)の充実を</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染拡大で住民の命と健康を守る上で、今後、大きなヤマ場になると思う。より感染力が強いと言われているデルタ株による感染がまん延するもとで深刻な事態になってきている。今、国のコロナ対応の致命的欠陥について、ワクチンの安定供給、PCR検査拡大、十分な補償と医療機関支援など、国の責任を果たしてもらうことを強く要請してもらいたい。</p> <p>また、6月議会でも質問したが、ワクチン接種と新型コロナウイルス感染防止対策の現状と今後のスケジュール、具体的方法などについての町民への周知徹底は。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染防止のためワクチン接種は大切だと思う。しかし、ワクチンのみによって新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めをかけることは難しいと考える。従って、ワクチンだけでなく、かかりつけ医院の診断薬や治療薬が必要だと思うし、公衆衛生の充実等が重要だと考えるが、町長に尋ねたい。</p> <p>③ 地方自治体は「憲法と地方自治法」に基づいて、一人一人の住民の福祉の向上と幸福追求権を具体化するためには、コロナ禍という局面において「公共」の役割をきちんと果たすことを基本にしていくことが最も重要であると考えているが、町長に尋ねたい。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>2. ごみ問題と久山町指定ごみ袋料金の引き下げについて</p>	<p>改めて問う。</p> <p>久山町可燃ごみ袋(大)1枚105円、(小)70円、燃えないごみ袋(大)1枚105円は、全県的にみても、糟屋地区1市7町の料金と比較しても高い。</p> <p>本来、税金で賄うべきごみ収集の手数料をごみ袋代として徴収すること自体が見直さなければならない問題である。</p> <p>せめて、近隣自治体並みに引き下げて、地域間の不公平感を解消すべきであるがどうか。</p>	<p>町 長</p>

令和3年第4回久山町議会9月定例会 一般質問通告書

令和3年8月18日(水) 9時30分～

質問順3番

本田 光

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 子どもの医療費中学校卒業まで完全無料化に</p>	<p>糟屋地区1市7町では、子ども医療費助成対象者を入院費は中学3年生まで(一部自己負担)、通院も本来4月1日から中学校卒業まで(一部自己負担)となった。古賀市は入院を18歳まで(一部自己負担)助成を2016年10月1日より実施されている。</p> <p>しかし、自治体により助成内容に違いがあり、どこに住んでいても等しく医療が受けられるよう、国の制度創設が急がれる。</p> <p>若者の子育てと定住促進にもつながり、住民の命と健康を守る立場から、糟屋地区市町長協議会、一般社団法人粕屋医師会等々で協議され、子ども医療費は、中学校卒業まで完全無料化を実施。できれば、1市7町糟屋地区自治体が統一して18歳までを実施されるよう協議していただきたいがどうか。</p>	<p>町長</p>